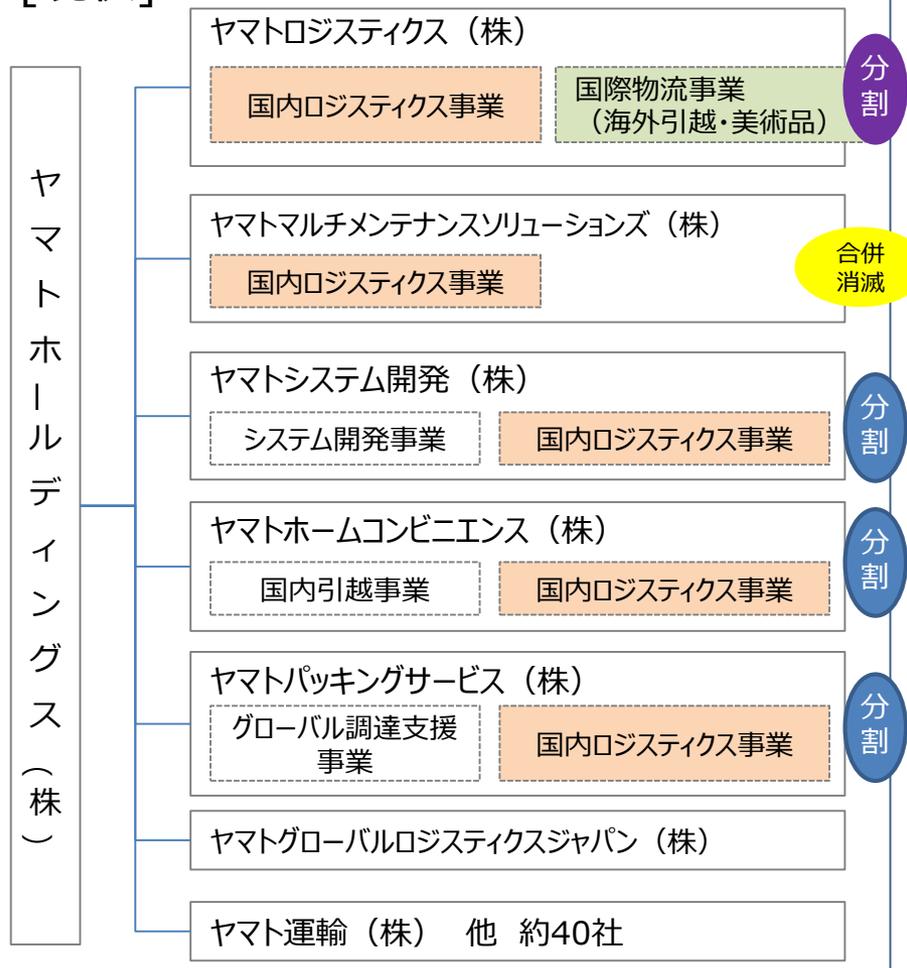


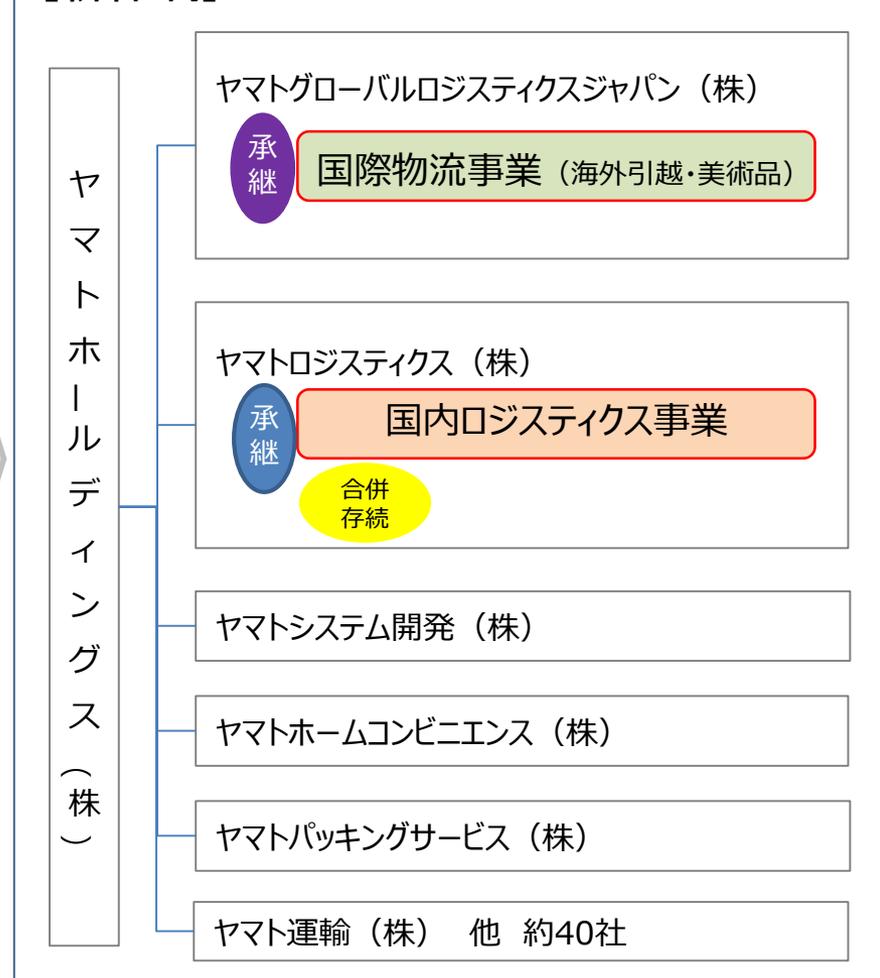
ヤマトホールディングス（株）傘下事業会社の事業再編について

ヤマトホールディングス（株）は、平成30年4月1日に会社合併・会社分割を行い、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン（株）にヤマトロジスティクス（株）の海外引越・美術品事業を承継させ、他グループ企業（4社）に分散している国内ロジスティクス事業をヤマトロジスティクス（株）統合させることを決定。本事業再編による法人顧客向けサービスの強化を行っていくことにより、更なる企業価値向上を目指す。

[現状]



[新体制]



事業再編計画の認定概要①(ヤマトロジスティクス(株))

【計画期間】[計画開始から3年以内]

⇒ 平成30年4月～平成32年3月

【生産性の向上】

修正ROA=(営業利益+減価償却費+研究開発費)/総資産の帳簿価格 \geq 2%

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準年度比13%向上を見込む

有形固定資産回転率=売上高/有形固定資産の帳簿価格 \geq 5%

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準年度比63%向上を見込む

【財務の健全性】

有利子負債/キャッシュフロー \leq 10倍

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準達成を見込む

経常収入 \geq 経常支出

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準達成を見込む

【雇用への配慮】[労働組合等との協議、雇用の安定等に配慮]

⇒ 解雇の予定なし

【事業構造の変更】

⇒ グループ他社の国内ロジスティクス事業の承継による経営資源の集中

【前向きな取組】

新商品・新サービスの開発・生産・提供[全社売上高における新商品等の売上高比率 \geq 1%]

⇒ 1%以上(顧客ニーズに基づいた業界別プラットフォームの構築)

事業再編計画の認定概要②(ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株))

【計画期間】[計画開始から3年以内]

⇒ 平成30年4月～平成32年3月

【生産性の向上】

従業員1人当たりの付加価値=(営業利益+人件費+減価償却費)/従業員数 \geq 6%

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準年度比12%向上を見込む

【財務の健全性】

有利子負債/キャッシュフロー \leq 10倍

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準達成を見込む

経常収入 \geq 経常支出

⇒ 事業再編計画の終了年度において基準達成を見込む

【雇用への配慮】[労働組合等との協議、雇用の安定等に配慮]

⇒ 解雇の予定なし

【事業構造の変更】

⇒ グループ他社の国際物流事業の承継による経営資源の集中

【前向きな取組】

商品の販売又は役務の提供の著しい効率化[販売費削減率 \geq 5%]

⇒ 5%以上の販売費削減(収益力の向上ならびに販売費の効率化)